第 32 回日本次世代人工腎臓研究会

8 月 27 日（日）　10:00 ~ 15:25

10:00~10:05　**開会の辞**　友 雅司（大分大学医学部附属臨床医工学センター）

10:05 ~ 10:55　ミニワークショップ － 1（**50 分**）
「**Uremic toxin : new definition and perspective**」
司会：川西 秀樹（土谷総合病院）

１．中分子量除去標的溶質（α**1MG** を中心に）
大分大学医学部附属臨床医工学センター
〇友 雅司

２．**Super high-flux** 血液透析とオンライン血液透析濾過における高アルブミンリーク/インドキシル硫酸除去の意義
川島病院腎臓内科 [1)]，AIM 医学研究所 [2)]
〇岡田 一義 [1)]，田代 学 [1)]，安田 圭佑 [2)]，新井 郷子 [2)]，宮崎 轍 [2)]，水口 潤 [1)]

10:55 ~ 11:45　ミニワークショップ － 2（**50 分**）
「血液浄化デバイスの付加価値について考える」
司会：武本 佳明（大阪公立大学）

１．**PMMA** 製吸着カラム フィルトール® ～β_2**-MG** 除去を超えた効果は期待できるか～
東レ(株)先端材料研究所
〇藤枝 洋暁

２．ビタミンＥ固定化による膜表面の柔軟性・ラジカル消去への影響と、後希釈 HDF での考察

旭化成メディカル株式会社

〇是本 昌英

11:45 ~ 12:45　　ランチブレーク

（飛び入りプレゼンテーション）

12:45 ~ 14:05　　**パネルディスカッション － １（100 分）**

「装着型人工腎臓（PD を含む）の展望」

司会：山下 明泰（法政大学生命科学部環境応用化学科）

１．装着型人工腎臓について基本的な考え方

法政大学生命科学部環境応用化学科

〇山下 明泰

２．装着型人工腎臓としての PD 療法

土谷総合病院

〇川西 秀樹

３．装着型人工腎臓により何が期待されるか？

法政大学生命科学部環境応用化学科

〇木口 崇彦、山下明泰

４．腹膜透析療法の可能性は？

大分大学医学部附属臨床医工学センター

〇友 雅司

14:05 ~ 15:20　　パネルディスカッション － 2（75 分）

「新技術をどのように次世代人工腎臓に活かす？」

司会：土田 健司（土田透析アクセスクリニック）

１．透析液組成における数理解析の可能性　心筋細胞拍動能の制御

九州大学大学院農学研究院 [1)]，大分大学医学部臨床医工学センター [2)]，社会医療法人川島会川島病院 [3)]，法政大学生命科学部環境応用化学科 [4)]，日本透析医学会学術委員会・血液浄化に関する新技術検討小委員会 [5)]

〇濱田 浩幸 [1,5)]，友 雅司 [2,5)]，金 成泰 [3,5)]，山下 明泰 [4,5)]

２．GBDT 法を用いた血液浄化器の性能予測の可能性

大阪工業大学工学部生命工学科 [1)]，大阪工業大学大学院工学研究院化学・環境・生命専攻 [2)]

〇﨑山 亮一 [1,2)]，野地 聖 [2)]，今田 賢心 [1)]

３．医療機器素材としてのナノマテリアル～抗菌性と生体親和性～

近畿大学生物理工学部医用工学科

〇古薗 勉

15:20 ~ 15:25　　**閉会の辞**　　山下 明泰（法政大学生命科学部環境応用化学科）